

# KTK いづみ福祉会を 守る会だより

2024. 春 NO.77



★児童デイサービス★

土曜日  
～販売活動の様子～

詳細は4ページで紹介！

## つながる大切さ

令和6年1月1日16時過ぎ、けたたましい携帯からの警報音に驚いて、テレビをつけました。能登半島の地震でした。びっくりして声も出ませんでした。地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心から願っています。

29年前の阪神淡路大震災の時には、避難所におられる方の傾聴から始まって、色々なボランティアを経験させていただきました。そのときに思ったのですが、弱者への配慮は、どうしても後回しになってしまうと…。

災害時には自助・共助・互助・公助と言わ

## いづみ福祉会を守る会

会長 林 知子

れています。もし今、地震がこの地に起きたら、いづみの方たちはどうするのだろうととても心配になりました。

平常時から地域の方々にいづみをよく知ってもらって、地域の方々と一緒にタイムラインを作って訓練の実施も行い、繋がりを深めていくことが大切だと思います。

災害時にはまず自分の命が大事です。そして、いづみのことも思い出してくださいと…心からお願いいたします。

何時も色々と御援助いただいておりますこと、最後になりましたが感謝して、お礼申し上げます。

# 防災委員会



前号にご紹介をした「衛生委員会」に引き続き、今回はいづみ福祉会で活動をしている4つの委員会から、『防災委員会』をご紹介します。お正月には能登での大きな地震が発生するなど、防災は非常に重要な検討課題となってきています。その活動内容について、ご紹介をします。

防災委員会は、2017年1月、いづみ福祉会のご利用者・職員・施設を災害から守るための活動をはじめました。火災時の対応、洪水時の避難、また防災備品の準備などをすすめ、今年度からはメンバーも増員し、BCP（業務継続計画）の作成に取り組んでいます。

今年の元日、能登地方で大きな地震が発生しました。亡くなられた方も多く、またライフラインが寸断される中、多くの方が避難所での不自由な生活が続いている状況です。

私たちの地域でも、南海トラフ巨大地震がここ30年のうちに70~80%の確率で起こると言われています。能登半島の何十倍もの被害が予想されるなか、どうすればご利用者・ご家族・職員の命や生活が守れるのかを考える必要があります。まずは、職員一人ひとりが防災意識を高め、自らの命を守ることを考え始めることが必要なのではないでしょうか。

防災委員会では、そのために『防災員会だより』の作成を行い、職員に対しての啓蒙活動に取り組んでいます。第1号のテーマは、「家屋の耐震」、第2号は、「家具の固定、阪神淡路大震災の体験談」、第3号は、「防災食」をテーマに発行しました。



今回の能登の地震では、政府や行政の初動の遅さが指摘されています。何事も準備をしておかなければ、いざという時に役には立ちません。そのためにも、業務継続計画（BCP）が必要になってくるのです。

いづみ福祉会の施設はすべて洪水・河川の氾濫時には水没する可能性のある地域に建てられています。これからまた雨の多くなる季節がやってきますが、異常気象が続く昨今、様々な災害に対応できるよう対策を講じていきたいと思っています。

自助・共助・公助という言葉があります。いつの災害時でも、被災者の皆さんが「共に助け合う」姿が印象的です。まず、自分のできることをする。そして、地域で一緒に助け合い、共に生きていける暮らしを作っていくこと。災害があっても、またいづみでの楽しい毎日を再び送れるように準備をすすめていきたいと思っています。

防災委員長 三船 美香



具体的な活動としては・・・

- ① 防災委員会だよりを発行
- ② 業務継続計画（BCP）の作成
- ③ 各事業所の防災についての意見交換





## 災害時 調理&食事体験

- ・グループホーム
- ・児童デイサービス

防災委員会での取り組みを踏まえ、

グループホームでは「防災クッキング」、児童デイサービスでは「非常食の試食会」を実施しました。少しずつ災害時のことを考えていけるよう取り組みを進めています。



### グループホーム 防災クッキング

グループホーム調理部として、普段ある食材を利用し、カセットコンロと鍋を使って、ビニール袋で調理してみました。

#### ★ メニュー ★

- ① ごはん：軟飯、全粥も OK
- ② 親子丼：非常食の焼き鳥を使用
- ③ コーンクリームパスタ：パスタとスープの素を使用
- ④ 蒸しケーキ：ホットケーキミックスを使用



味は絶品！「ほんとにビニール袋で炊いただけ??」と疑いたくなるようなおいしい味でした。

洗い物も少なくエコにつながりました。

(稲田)



### 児童デイサービス 非常食試食会



備蓄品が「児童の口に合っているのか」の確認ということで、今回は職員だけで5種類の非常食を試食してみました。実際に食べてみたことで、色々な気づきがありました。今後はそれを踏まえた上で、実際に子供たちが食べられるのか、児童向けの試食会も実施してみたいと思いました。

(塩見)

缶詰は出すときに一苦労。チョコレート味でしたが、少し癖があって子供たちには不評かも…との声が出ていました。



一番人気は「山菜おこわ」非常食とは思えないほどおいしいとの声が多数あがりました。

#### 非常食の上手な選び方

- ① 食べ慣れた味・好みの味かどうか？
- ② 常温でも食べられるか？
- ③ 衛生面でも安心なものか？
- ④ 栄養バランスを考えて幅広く



## “防災”について話し合いました！！



ちくたくでは、月に1度ミーティングを開催し、みんな意見交換を行っています。今年度は9月、10月、1月に「防災」をテーマにして、話し合いを行いました。

1月のミーティングでは能登半島の地震を受け、「断水・停電・ガス停止の対策としてどのようなものがあるか？」をテーマにして意見を出し合いました。

ご利用者からは、「(給水車に水をもらいにいく時)ポリタンクが必要だと思う」、「何時間も並んで給水車から水をもらっているとニュースで見た」、「100均でも給水バックが売ってた」、「ガスコンロを用意しておけばお湯が沸かせる」、「モバイルバッテリーは持っているけど、充電していなかった」、「100均のプラスチックボトルに非常食とかを入れて非常用ボトルを作って持ち歩くと良いつて聞いた」、「避難所の床で寝るのは、床が固そうだから段ボールがあっ



た方が良いと思った」などなど、様々な意見が出ました。

ご利用者の中には、能登半島地震の報道で不安を感じているが、『防災について何を準備したらよいかわからない』といった方もおられました。今回のミーティングが「防災」について考えるきっかけやヒントになり、実際にみんなで準備を進めていければと思います。(竹田)

### 児童デイサービスセンター

## パン販売活動報告♪

2月3日(土)にアスピア山城で行われた「やましろ人権フェスタ in きづがわ」での販売を、児童デイサービスの「納品販売活動グループ」で行いました。お手伝いではなく、完全にワーキングセンターから任せられた仕事でしたが、緊張よりもワクワク感が勝った各児童が『自分の得意』を生かした販売ができたように思います。「来場者の多いタイミングで積極的に呼び込みを行う」、「商品がなくなったら自発的に補充する」、「両手で丁寧に商品を手渡す」、「忙しくても落ち着いて計算する」など、役割分担による



挨拶もしっかりと！



手ごたえあり★  
の呼び込み！



素早く商品補充



慎重に計算

チーム販売ができました。いつもの道の駅や和束茶カフェの納品にはなかった「茶点」というメレンゲ菓子についても、事前に商品説明の言葉を練習しておくことで、実際の販売でも落ち着いて対応する児童の姿に頼もしさを感じました。休憩タイムには具たくさん豚汁やカレー、焼きそばを満喫したり、大道芸を見たり、やりがいと楽しみであふれた一日となりました！(辻井)





## いづみ福祉会との懇談会を開催しました。

いづみ家族会 濱野 陽子

令和6年1月17日(水) いづみ福祉会より、須河事業部長、土井総務部長、荒川施設長にご参加いただき、家族会12名の計15名の参加で行いました。いづみ福祉会の経営状況やワーキングセンターの現状をお聞きしました。

ワーキングセンターでは職員の不足により、行事の中止やパン販売の縮小等影響が出ており、人手の確保が課題であるとお話がありました。また、作業に人手がかかる為、作業に割く時間を抑えて、利用者の希望に沿った日中活動の割合を増やしていくとのことでした。

いづみ福祉会の経営については安定してきて

おり、今年末より積立金を使って建物の長寿命化を図るため本館の改修を随時行っていくとのことです。

会員さんからは、子どものこれからの暮らしについてはグループホームを希望する方、特にいづみの近くのグループホームで地域の中で暮らすことを切望する方が多いですが、現状ではなかなか難しい状況です。

今後は家以外での体験を増やしながら、親子で子どもに合った場所や暮らしを考えていく必要があると感じました。



## インフォメーション

### ワーキングセンター より…

#### クラフト班



#### ◆ イベント 『奈良町物語館 販売会』



☆ 草木染のショールや手織りのかばんなど…  
やさしい色合いの商品がそろっています。

- ◇時期 4月：販売会はありません。  
5月：1日(水)～8日(水)
- ◇時間 [平日] 11時～15時  
[土日祝] 10時～17時
- ◇場所 奈良町物語館



開催の日程については、随時、こちらの  
インスタグラムで紹介中！

クラフト班・インスタグラム  
イベント、販売告知、販売会に  
向けての 作製中の様子などを  
投稿しています。  
皆様のフォローといいね！を  
お待ちしております。



情報はインスタグラム  
でもご確認いた  
だけます。



#### パン班からのお知らせ

いづみのホームページや掲示物等でお知らせ致して  
おります通り、2月からフルーヴ営業の曜日や  
時間を変更させていただきました。ご不便をおか  
けて申し訳ございませんが、今後とも安心して  
美味しく召し上がっていただける製品作りに努め  
て参りますので、よろしくお願い致します。

詳細は下記ご参照ください。

#### フルーヴ (ワーキングセンターいづみ内店舗)

〔営業日〕 水・木・金  
〔営業時間〕 11:30 ~ 15:30

#### 木津川市役所 (パン販売)

〔販売日〕 金 (第1・3・5週)  
〔営業時間〕 11:50 ~ 12:45 頃

#### 木津総合庁舎 (パン販売)

〔営業日〕 金 (第2・4週)  
〔営業時間〕 11:50 ~ 12:45 頃



# 会費納入ありがとうございました！！



2023年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。  
個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）  
（2023年12月11日～2024年2月25日受付分）

青山 信一	生駒 基達	石川 紀子	稲垣 きみ子	上野 一三	金井 志奈
木村 恵子	久保 恭子	杉岡 照美	杉若 良子	巽 千鶴代	田中 道子
西山 幸千子	平尾 美月	福家 省造	堀 喜代子	村木 康二	森 功
油谷 紀子	吉本 玲子	吉本 恵			

…会費は法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。

\*郵便局から情報が届くまでに時間がかかり、この期間にお振込みをいただいたにもかかわらず、お名前を掲載できていない方がおられる可能性があります。申し訳ありません。

## ご寄付ありがとうございました。

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2023年12月11日～2024年2月25日受付分）  
お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

河原 凱栄 様	岩坪 緑 様	浜野 陽子 様	塩見 敏彦 様	塩見 悌也 様
来住 育子 様	里内 亜紀 様	山田 久美子様		

洗濯機、スタッドレスタイヤ、タオル、シーツ、パット、レゴ、絵本、りんご、みかん  
白菜、大根

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。  
また、ご家庭に不用品な タオル、電気ポット、大型テレビ、掃除機、洗濯洗剤、炊飯器  
子ども用自転車、プラレール、加湿器、フードプロセッサ、雑巾、大きなプランター  
パズル、ミキサー がありましたら、よろしく願います。

※衣類・食器につきましては、たくさんのご支援をいただき、受付を終了させていただきます。

### 編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL : 0774-66-4114 FAX : 0774-76-0070

URL : <http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

≪ 編集委員 ≫

いづみ家族会 : 小川

法人職員 : 丸岡伸、大久保、竹田、清州、土井

1992年6月5日第三種郵便物認可(毎月1回25日発行)  
2024年3月16日発行 KTK増刊通巻第5468号

発行所  
発行人

京都障害者団体定期刊行物協会  
高谷 修 〒602-1814

075-822-2691  
京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町536-1

頒価100円 会員の購読料は、会費に含まれていません。  
元待賢小学校1階 京都難病連内